

| | |
|-------|--|
| 会議名 | 第3回港区立有栖川宮記念公園の緑の保全及び適正管理に関する検討業務委託事業候補者選考委員会 |
| 開催日時 | 令和6年8月1日（木曜日）午後1時45分から午後3時15分まで |
| 開催場所 | 港区役所6階相隣相談室 |
| 委員 | <出席者> 5名 富田委員長、野口副委員長、大久保委員、傳法谷委員、吉田委員 <欠席者> なし |
| 事務局 | 街づくり支援部土木課土木計画係 |
| 会議次第 | 1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 閉会 |
| 配付資料 | [席上配付] 次第 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果 資料4 第2回選考委員会議事録 参考資料1 第二次審査における質問事項 参考資料2 第一次審査集計結果 参考資料3 港区立有栖川宮記念公園の緑の保全及び適正管理に関する検討業務委託事業候補者募集要項 参考資料4 仕様書 参考資料5 港区立有栖川宮記念公園の緑の保全及び適正管理に関する検討業務委託事業候補者選考基準 参考資料6 事業者提案書 |
| 会議の内容 | |
| A委員 | 【1 開会】 【2 第二次審査実施概要について】 （事務局より資料1について説明） 【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 （事業者入室、プレゼンテーション） 様式8についてお伺いします。多様な利用者があることが有栖川宮記念公園 |

| | |
|-------------|--|
| | <p>の特徴で重要な点であると思っています。それは公園の魅力として提案書にも記載されていますが、一方で、課題としてその魅力が十分に生かされていないとの記載もあります。多様な利用者がいる公園の良さが生かし切れていないという課題について改めてご説明をお願いします。</p> |
| <p>A事業者</p> | <p>公園の周辺には多くの区民がお住まいであることに加えて、小学校・中学校・高校もあり、さらに特徴としてインターナショナルスクールもあります。そういった中で、公園の中を見ると部分的に英語表記などはありますが、インターナショナルスクールの方々が公園を利用する際に、公園の特徴をPRできるような設えがあるかという点、その部分は弱いと感じています。有栖川宮記念公園は風格ある日本庭園ですので、特にインターナショナルスクールの方など公園にお見えになった外国の方々に日本らしさをPRし、文化を伝授するという観点で、今後、強化する必要があると感じています。</p> |
| <p>A委員</p> | <p>もう1点、様式9について、今回私たちが考えているのは特に緑の維持管理についてですが、中長期的な管理運営の方向性を示す指針の不足が課題とご指摘をいただいています。そのことを踏まえ、緑に関しての有栖川宮記念公園の将来像について具体的なイメージがあったらお聞かせください。</p> |
| <p>A事業者</p> | <p>具体的には、樹種の分布状況を考慮した上で提案すべきだと思っておりますが、提案書を作成する上で何度か公園を見た感触でお話しします。有栖川宮記念公園の樹木は樹齢がかなり長く、日本庭園として厳かな雰囲気がある一方で、将来的に倒木の可能性や、生い茂り部分的に暗さを感じる場所もあると思います。公園であるので見通しなど防犯の観点からどのように樹木の剪定と管理をしていくのか、そして将来的に100年たっても樹木が健全なのか検討しながら植え替えの必要性などを整理して維持管理のあり方をご提案できればと思っています。</p> |
| <p>B委員</p> | <p>様式6についてお聞きしたいのですが、管理技術者と主担当技術者、担当技術者のそれぞれの役割と担当技術者が4名配置されていますが、各担当技術者の役割を教えてください。</p> |
| <p>A事業者</p> | <p>管理技術者の役割は、主に滞っていることはないかなどの業務の進行管理や発注者の要望に対応できているかなどを管理します。また、業務に携わる中で時期によって業務量の強弱があると思いますので、そのときに担当技術者を割り当てる、もしくは追加で任命するというような業務全体の管理と、公園の整備に当たっての考え方について確認します。</p> <p>主担当技術者は、具体的な業務の内容について、緑の保全及び維持管理の基</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>本的な方針を考えて作業分担を行います。担当技術者は、今回の業務は仕様書でいくつか分かれていますので、それぞれの担当を割り振りながら進めていくことを想定しています。</p> |
| B 委員 | <p>担当技術者 4 名の役割分担はどうでしょうか。</p> |
| A 事業者 | <p>業務内容としては、現況分析、調査、課題の整理と将来像の検討があります。現況分析、調査、課題の整理については、担当技術者 3 名で対応し、将来像の検討以降については主担当技術者を含め 2 名で担当するよう考えています。</p> |
| C 委員 | <p>様式 9 (2)①「防災拠点としての機能向上」とありますが、災害時の利用想定だけではなく、災害の被害を受けにくくする、災害があったときにも公園が機能するという観点で、有栖川宮記念公園でできそうなことについて考えがあれば教えてください。</p> |
| A 事業者 | <p>緑が存在することで防災としての機能は有しており、その上で多くの緑があることから、延焼を防止する機能が第一にあると考えています。さらに、災害が起こった後に倒木がなく、避難できる空間を確保することで避難場所としての機能もあります。また、整備も関わるためどこまでできるかということではありますが、最近ではゲリラ豪雨が多い状況にあり、流域の下の方の内水氾濫等の防止をする必要がありますが、公園の地表面からの雨水浸透機能に加え、雨水貯留機能として池を活用していくなど、雨水貯留機能として水をためる機能を強化していくなど具体的に検討していく中で提案していきたいと思います。</p> |
| C 委員 | <p>様式 6 のスケジュールの中で、検討委員会を 3 回設定されているかと思います。3 回目はこれまでの議論のまとめになるかと思いますが、この 3 回についてそれぞれの到達目標のイメージがあれば教えてください。</p> |
| A 事業者 | <p>全 3 回ということで、回数的には最低限です。基本的には、議論をしていただきながら確認し、またそれに対してご指摘事項をもらう場とすることを想定しています。その中で、第 3 回は最終確認と考えていますので、第 1 回で現状把握と課題整理、そこから考えられる将来像のイメージまでは事務局から提案して説明し、意見をいただければと考えています。第 2 回については、第 1 回でいただいた将来像に対するご意見を踏まえて、具体的な手法と施策について委員からご意見をいただき、第 3 回で意見を素案として取りまとめて最終確認とご意見をいただくことを考えています。</p> |

| | |
|------|---|
| C委員 | <p>わかりました。</p> <p>様式9について、(2)①は10年後の中期目標時に到達していきたい状態を記載しているかと思いますが、この中でも少し骨が折れるなどと思う部分があれば教えてください。また、中央図書館との連携とありますが、図書館があることで得られるメリットもあると思いますが、逆になかったらこんなこともできるのではないかというご発想があれば教えていただきたいと思います。</p> |
| A事業者 | <p>まず2点目の、中央図書館があること、無いことによるメリットについてですが、インターナショナルスクールも含め学校が周りに多くあるため、生態系などの環境学習や日本の歴史を学ぶ、学習の場として十分活用できるのではないかと考えています。その中で、単に見るだけではなく、より深い知見を得るために図書館の蔵書を活用し、外での課外学習と合わせて中での座学という形で学習が可能となります。学校だけではなく、一般の区民の方も同じように生涯学習としての学びの場としての活用ができると思います。</p> <p>次に1点目の難儀になりそうな施策、手法については、公園を利活用する際に人々をどのように巻き込んでいくか、それが単発で終わらないように長く使われて活かしていくための仕組みやキーマンを抑えて効果的に公園を活用することを民間事業者も含め一緒に考えていくという点であると思っています。</p> |
| C委員 | <p>推進体制の確立が一番難しそうだということによろしいでしょうか。</p> |
| A事業者 | <p>はい。</p> |
| C委員 | <p>ありがとうございました。</p> |
| D委員 | <p>様式9について、100年を見据えた公園づくりは大変良い考え方だと思っています。中期目標として、豊かな自然を育む公園、歴史を受け継ぎ文化を育む公園とありますが、これらについてもう少し具体的にお話しいただけますか。</p> |
| A事業者 | <p>豊かな自然を育む公園については、生物調査も頻繁に実施している状況を見ると、豊かな生態系があると感じています。さらに樹木管理をうまくしていけば、チョウ類などをさらに呼び込める公園になっていくと思います。また、樹種もかなり豊かですので、港区の中でも管理された美しい自然、本来の自然をアピールできる公園となると良いと思っています。100年がたっているというのも大きなポイントだと思いますので、自然に近い自然といったところから提案していきたいと思っています。</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>続いて、歴史を受け継ぎ文化を育む公園については、100年の歴史がありますが、普通に整備すると歴史の趣や品格などが無いがしろになってしまいます。歴史ある公園でもうまく管理がされなければ、単に苔が生えた銅像がある公園になってしまうので、歴史を踏まえた管理をしていく必要があると思います。また、文化を育むという点では、ただ見せるだけではなく、生涯学習や学校教育等を通じながら学ぶことができれば、それが継承するという点にも繋がっていくと思います。</p> |
| D委員 | <p>今回の業務は、緑の保全及び適正な管理ということですが、広い意味で緑に含まれるものとして、有栖川宮記念公園には池もあります。池の問題は結構あって、広い意味での緑の管理という点で、池と樹木の関係、池の管理も含めたところで何か考えがあったらお聞かせください。</p> |
| A事業者 | <p>最近の調査では結構少なくなっているとのことですが、ブルーギルなど外来生物がいて、それらは水質が悪くても住んでいけますが、日本の在来種では水質が悪いと繁殖できません。繁殖しないと外来生物に負けてしまうので、水質が維持され、よりきれいにしていくことが重要です。地下水の流れやそれがどのように池に流れ込んでいるのかということや、木があることで土中に水が流れ込み、土中の水が池に流れ込む仕組みが今の状態でできているのか、もしくは一部土壌改良して流れ込むようにした方が良いのか、調査をしてご提案できるものがあればしたいと思っています。</p> |
| E委員 | <p>様式7の課題のことで、緑の機能を活かすことで生まれる付加価値について、有栖川宮記念公園において具体的に代表的なものを1つ挙げていただければと思います。</p> |
| A事業者 | <p>グリーンインフラの価値というのは、防災・減災、環境、地域振興とありますが、有栖川宮記念公園は港区の拠点となる公園であることから、今回は地域振興に注力したいと思っています。グリーンインフラは使われ育まれていくインフラという意味合いを国としては非常に強く推しているのでもう一度よく使っていただける公園づくりを目指したいと思っています。</p> |
| E委員 | <p>様式9 維持管理方法の中で、脱炭素の視点がなかったのですが、脱炭素の視点で維持管理の方法があればご提案いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> |
| A事業者 | <p>若い樹木は日中、二酸化炭素を吸収して、夜に吐きますが、吸収量の方が多くなります、しかし、有栖川宮記念公園は100年経っている公園であり、樹</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>齢がかなり高い樹木が多いです。樹木は50年経つと二酸化炭素の吸収量はプラスマイナスゼロになり、脱炭素に対して何か貢献しているかと言うと疑問が出てきますので、その部分については記載をしませんでした。100年の木を切っていいのか、植え替えていいのか、検討会の委員の中でも様々な意見が出てくると思います。その部分の判断が非常に難しいと思っていますので、あえて記載しませんが、木を植え替えていく、適正な自然を維持していくためには重要だと思しますので、植え替えていければ、脱炭素にも大きく貢献することになると思います。</p> |
| E委員 | <p>ただ樹木を切るだけではなく、効果を考えた上での対応は必要になってきます。脱炭素の視点も加えていただくと、さらに良くなったかと思しますので、その点はよろしく願います。</p> |
| A事業者 | <p>検討会の委員の意見も聞きながら、その点もご提案できればと思います。</p> <p>(A事業者退出) (委員は各自採点)</p> <p>【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について講評】 (事務局より資料3について説明)</p> |
| 委員長 | <p>各委員は、事業者ごとの評価に当たっての視点を説明してください。</p> |
| A委員 | <p>緑の維持管理の方向性という重要なポイントについては、防犯面から見通し良く保たなければいけないことや、倒木を防ぐ安全対策を講じなければいけないことなど例示された視点と着眼点から説得力を感じられました。また、多様な利用者がいるという有栖川宮記念公園の魅力及び課題については、インターナショナルスクールや外国人来訪客への魅力の伝え方について工夫できると提案があり、有栖川宮記念公園の魅力と課題を理解できていたと感じました。担当者が整理された説明をしており、相当の力が見込めると感じました。十分、総合力は感じられました。</p> |
| B委員 | <p>管理技術者の回答が長かったことから、回答力や取組意欲については5段階評価で3の評価としました。また、発展性についても、当たり障りない回答が多かったため、3の評価としました。</p> <p>一方で、区がなぜこの業務を発注するのかは把握しており、業務趣旨の理解はうかがえ、スタッフも含めて提案の実現性まで見込めるのではないかとということで、この2項目については4の評価としました。</p> |

| | |
|-----|--|
| C委員 | <p>有栖川宮記念公園を取り巻く環境として、様々なステークホルダーがいろいろな発言をされる状況の中で、推進体制をどのように構築していくかが課題であると認識していた点は良かったと思いました。</p> <p>また、有栖川宮記念公園の池のろ過装置がしばらく故障していたことがわかった状況もあるので、水質の観点は重要であると思いました。</p> <p>良くなかった点としては、脱炭素の視点をあえて書かなかったということで、事業者として意思を持って記載しないと、検討委員会の場で委員の先生に流されていくのではと不安に感じ、意思が弱い印象を受けました。</p> <p>また、回答についても、図書館も一般の方が閲覧できるような図書館ではないことを理解していなかったり、事前の調査をもう少ししていただいた方がよかったかと思いました。</p> |
| D委員 | <p>プレゼンテーションの中で新たな提案が特に少ないと感じました。ただ、事前に提出されている資料の中で概ね主張をされているので、その点は業務全体の理解度はあると感じ評価しました。</p> <p>また、理解・回答力では、私自身少し意地悪な質問をしたつもりですが、その辺も逃げずに的確に回答できていたと思いますので、その点で評価しました。</p> |
| E委員 | <p>有栖川宮記念公園の公園に求める役割や魅力、課題、維持管理方法は現況をよく理解していると思いました。一方で重要なグリーンインフラの機能や維持管理における脱炭素の視点について質問したところ、提案があまりなかったのですが、委託業務の中で、A事業者や検討会の委員から引き出すことで業務遂行は可能であると思いました。</p> <p>短期間で検討会を開催しなければならないと思いますので、委員のスケジュールを早く抑え、逆算して資料作成等を進めていくなど、事務局の方でしっかり確認していただければと思います。</p> |
| 委員長 | <p>各委員からの講評を踏まえ、採点を修正したい委員はいますでしょうか。修正がない場合は、A事業者を事業候補者として選定することといたしますが、よろしいでしょうか。</p> |
| 全委員 | <p>異議なし</p> |
| 委員長 | <p>それでは、A事業者を事業候補者として選定します。</p> <p>【5 その他】 (事務局より事務連絡)</p> |

| | |
|--|--------|
| | 【6 閉会】 |
|--|--------|